

宗内寺院紹介 **80**

兵庫教区第一部

法ほう寫しゃ山ざん戒かい光こう院いん

①



②



④



⑤



③



⑥

- ①本堂 ②平清盛供養塔 ③魚籃観世音菩薩
④阿弥陀三尊像(松久宗琳作) ⑤本堂内部
⑥光源氏明石浦浜の松

戒光院(善樂寺)は、幸徳天皇の大化年中(六四五〜六五〇)に法道仙人が開創した明石で最も古い寺として知られています。保元元年(一一五六)播磨守に任命された平清盛は、この地を重視し、火災にあった堂塔伽藍を再興し、念持仏の地藏尊と寺領五〇〇石を寄進しました。現在、清盛が寄進したものは第二次世界大戦の戦火で残っていませんが、清盛の甥にあたる忠快法印が養和二年(一一八二)に建てた清盛供養塔が現存しています。また文学を愛した江戸時代の明石藩主松平忠国が建てた「明石入道の碑」「光源氏明石浦浜の松の碑」があり、「源氏物語」ゆかりのお寺として多くの人に親しまれています。寺伝によると、天喜元年(一一〇五)十月二十六日に住職だった源泉座主が延暦寺第三十一世座主になられています。現在の本堂は昭和六十三年に落慶しました。

兵庫教区第一部
法寫山 戒光院

住 所 / 〒673-0897 兵庫県明石市大観町11-8
電話番号 / 078-917-5070